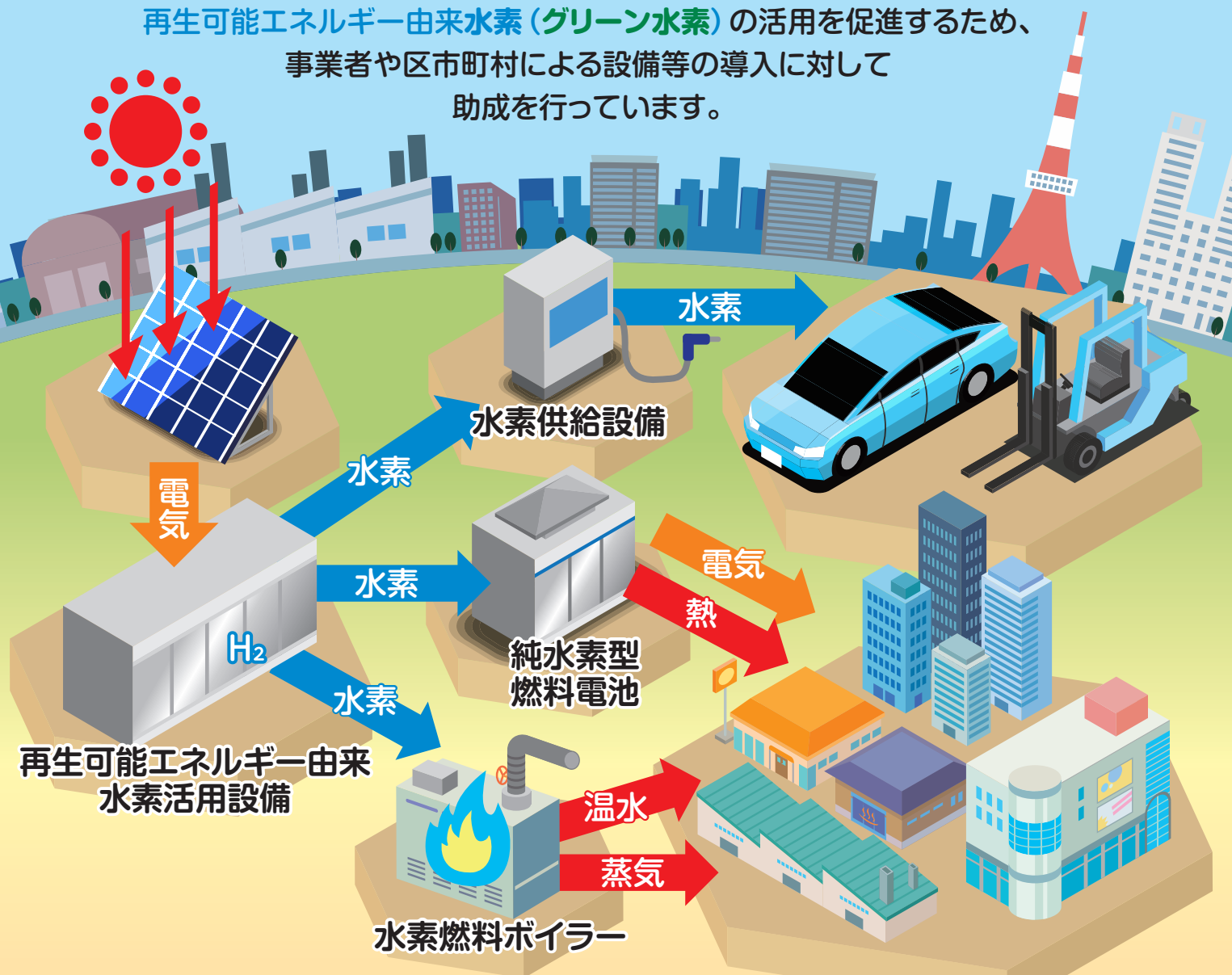


～東京都は、2050年**グリーン水素**の本格活用を目指しています～

再生可能エネルギー由来水素活用設備等 の導入を東京都が支援します！

東京都は、**脱炭素社会の柱となる**

再生可能エネルギー由来水素（**グリーン水素**）の活用を促進するため、
事業者や区市町村による設備等の導入に対して
助成を行っています。



再生可能エネルギー由来水素活用設備とは…

再生可能エネルギーで発電した電気で**水素**を製造し、その製造された**水素**を
燃料電池自動車や純水素型燃料電池、水素燃料ボイラー等に供給する設備です。
設備の導入により、災害時等の事業継続にも貢献します。



公益財団法人 **東京都環境公社**
(東京都地球温暖化防止活動推進センター)

R70
古紙配合率70%再生紙を使用しています。

再エネ由来水素の本格活用を見据えた設備等 導入促進事業

助成対象者

民間事業者 及び 都内の区市町村

助成対象 設備

再生可能エネルギー由来水素活用設備

▶再生可能エネルギーにより発電した電力を用いた水の電気分解により水素を製造する設備。また、製造した水素を燃料電池自動車や純水素型燃料電池、水素燃料ボイラーなどに供給する設備。

純水素型燃料電池

▶水素のみを燃料とする定置式燃料電池であって、発電した電力及び発電に伴い発生した熱を供給するもの。

水素燃料ボイラー（令和5年度から補助対象に追加されました）

▶水素燃料のみを使用する業務・産業用ボイラー
東京都低NOx・低CO₂小規模燃焼機器認定を受けた設備であって、水素専焼であるもの。

助成条件

助成対象設備を都内事業所等において新たに設置すること。
設置した設備を活用し、再生可能エネルギー由来水素や水素を利用する機器に関する普及啓発を実施すること。

燃料電池自動車、燃料電池バス、燃料電池フォークリフト、燃料電池トラック、純水素型燃料電池又は水素燃料ボイラー等のうちいずれかを導入すること。

※助成条件に関する詳細は手引き等をご確認ください。

助成額

助成対象設備	助成対象経費	補助率	助成上限額
再生可能 エネルギー由来 水素活用設備	設計費 設備費 工事費 諸経費	助成対象 経費の 1/2以内	3億7,000万円 (5Nm³/時間超)
			1億円 (5Nm³/時間以下)
助成対象 経費の 2/3以内		8,700万円/台 (3.5kW超)	
		1,600万円/台 (3.5kW以下)	
		4,500万円/台 (1,000kg/h超※)	
		3,500万円/台 (1,000kg/h以下※)	
純水素型 燃料電池			
水素燃料 ボイラー (令和5年度追加)			

※相当蒸発量

事業 実施年度

令和3年度～令和7年度の期間において、助成金申請を受け付けます。

令和7年12月26日までに工事を完了するものが対象となります。

※申請の受付は年度ごとに行います。

詳しくは、クール・ネット東京ホームページをご覧ください。

https://www.tokyo-co2down.jp/subsidy/3_7hydrogen_recycle

●お問合せ先



クール・ネット東京

東京都地球温暖化防止活動推進センター 事業支援チーム

(クール・ネット東京)

〒163-0810 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル

電 話 **03-5990-5089**

受付時間 月曜日～金曜日(祝祭日・年末年始を除く)
9:00～17:00(12:00～13:00を除く)



リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。